

異常気象と除草剤の使用

本年の東北の稲作期間の気象は、まことに変動の大きいものであった。5～6月は低温続きで、異常低温注意報が5回程度でていた。このために、初期生育が極めて不良であった。

7月からの高温で稲の生育の回復をみ、穂数は少ないが着粒数が多く、登熟期の天候如何によつては平年作に近くなる期待をもったが、8月23日の台風15号で、水害のほかに、東北ではかつて経験したことがないほどの風害を受け、昨年の大冷害に次いで2年続きの災害にあい、いま一步のところまでまことに残念なことである。

このような異常気象、とくに田植後の異常低温で、初期の除草剤はほぼ計画どおり使ったものの、中期除草剤の使用については関係者も農家も、ずい分苦悩した年であった。つまり、稲の葉数はすすまず、乾物重は平年の半分の状態で、弱々しい生育に加えて、低温続きでは二の足をふまざるを得なかった。

かくして、なんとか中期除草剤を使ったところのほかに、中耕除草機が入ったり、四つんばいの田の草とりが行われたりの除草対応もかなりみられた。それも行いかねたところは、この秋になって、ノビエの発生しているのが至るところに見受けられた。久しぶりに、ヒエ抜きに大変な労力をかけてやらざるを得なくなった農家の反応も複雑である。稲作作業体系に除草剤使用が定着しただけに、除草剤のありがたさが認識されるとともに、今年の使用上の問題点を明らかにして、今後に役立てなければならないと思っている。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会理事
東 北 支 部 長 藤 巻 竹 千 代〕

目 次 (第15巻第6号)

世界の稲作における水田雑草とその 制御の現状……………	2
＜宇都宮大学 竹松哲夫・竹内安智＞	

樹園地用除草剤試験研究のあれこれ……………	19
＜果樹試験場口之津支場 広瀬和栄＞	

リンゴ園用除草剤試験のあれこれ……………	23
＜落葉果樹研修所 久保田貞三＞	

1. リンゴ園の草管理の経過と除
草剤……………23
2. リンゴ園での除草剤の使用場
面……………24
3. リンゴ樹および土壌への除草
剤の影響……………25
4. 除草剤の散布器具……………26
5. 最 後 に……………27

昭和55年度秋冬作芝生関係除草剤・ 生育調節剤試験成績概要……………	27
＜財団法人 日本植物調節剤研究協会＞	

外国文献抄録

除草剤についてのCDA……………	30
------------------	----

表紙の写真は、カタバミの種子表皮細胞を走査電子顕微鏡で撮影したもの、
亀甲突起型、4000倍。

〔写真提供者；笠原安夫氏〕